

様式第1号(第4条関係)

令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

2022年5月13日

(あて先)

さいたま市長

所在地

団体名 Smile Daisy

代表者氏名 神谷 千寿

注 署名によらない場合は押印してください

下記により、令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金(一般助成事業・団体希望助成事業)の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金交付申請額 金 110,000円
- 2 事業計画書
- 3 事業収支予算書
- 4 団体概要
- 5 添付書類



## 事業計画書

団体名	Smile Daisy
-----	-------------

* 事業の概要	
事業の名称	*この事業は、何という名前ですか？ 保護者向けSNSの使い方講座 ～我が子を被害者にしない！加害者にしない！ために～
事業の分野 とその概要	*この事業の分野は、どのような分野ですか？ □ (四角) に☑ (チェック) を入れてください。 また、この事業を文章で短く言い表すと、どのようになりますか？ (100字程度)  <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"><input checked="" type="checkbox"/> 保健・医療・福祉</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 社会教育</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> まちづくり</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 観光</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 農村漁村</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 学術・文化・芸術・スポーツ</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 環境</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 災害救援</div> <div style="width: 50%;"><input checked="" type="checkbox"/> 地域安全</div> <div style="width: 50%;"><input checked="" type="checkbox"/> 人権・平和</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 国際協力</div> <div style="width: 50%;"><input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 子ども</div> <div style="width: 50%;"><input checked="" type="checkbox"/> 情報化社会</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 科学技術</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 経済活動</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 職業・雇用</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 消費者保護</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> その他</div> </div> ( ) インターネット上のコミュニケーションに関する啓発講座を保護者向けに開催します。ネット社会でわが子が被害者や加害者とならないように啓発を行うとともに、被害があった場合に適切な対処がとれるようになることを目指します。
協働を希望する担当	*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？ 人権政策・男女共同参画課
マッチングファンドの申請回数 (前回の結果)	*マッチングファンドの申請は何回目ですか。回数をお答えください。 また、過去にマッチングファンドの利用実績がある場合は、前回の助成事業の振り返り(効果・成果)を記入してください。 1 回目 (前回助成を受けた年度： 年度)
対象者	*この事業は、誰を主な対象に実施しますか？ 幼児から小学生の保護者
実施期間	*この事業は、いつからいつまでに実施しますか？ 令和 4 年 6 月 ～ 令和 4 年 10 月
総事業費	*この事業は、いくら資金が必要ですか？ (そのうち助成金はいくらですか？) 130,000 円 (助成金交付申請額 110,000 円)
事業のテーマ	*市が募集するテーマに限り、この事業のテーマを記入します。 インターネット上の誹謗中傷対策

団体名	Smile Daisy
-----	-------------

1	現状における課題と事業の目的
<p>*この事業は、何を課題としてとらえましたか？（課題：地域や市民等にある解決が必要な事柄）</p> <p>ネット上のコミュニケーションが日常化している現代、コロナ禍においても遠方の人たちとオンラインで接触できることは大変有意義なことです。しかし、その反面、匿名による誹謗中傷、個人攻撃、モラルのない発言など、ネット上のトラブルというものも増えています。これからのデジタル社会においてネットを使いこなすことは必須となることから、市民がネットトラブルに関する知識を得、ある程度の回避ができる状態になることが必要であると考えます。</p>	
<p>*この課題に対し、行政（国、県、市）が実施している施策をどう考えましたか？</p> <p>個人情報保護法、不正アクセス法などの法整備のほか、ネット上での人権教育啓発など、複数の省庁がこの問題に関して施策実施をしています。あまりにも日常的に起こる人権侵害問題に関しては法規制だけでなく、幼少期からのリテラシー教育による底上げ、人権に関して考え、話し合う場所の設定などを更に進めていくべきではないか、と考えます。</p>	
<p>*この事業は、何を目的に設定しましたか？</p> <p>（目的：課題に対応して何をを目指すのか。課題が解決したときの、地域や市民等が得られる理想の姿。）</p> <p>自身とネット社会、子どもとネット社会の問題に向きあい、ネット上での人権侵害「しない」「させない」リテラシー教育と被害にあった場合に適切な対処がとれるようにする事を目的として設定いたしました。</p>	

2	事業の具体的な内容
<p>*この事業は、どんな手段で課題を解決しますか？（いつ、どこで、だれが・だれに、なにを、どうするの視点で）</p> <p>※目的を達成するための事業が複数ある場合には、事業②の欄を追加（挿入）してください。</p>	
事業①の事業名	保護者向けSNSの使い方講座～我が子を被害者にしない！加害者にしない！ために～
いつ（ごろ）	令和4年10月
どこで	動画配信及びオンライン
だれが（主体） だれに（対象）	（主体） Smile Daisy,人権政策・男女共同参画課 （対象） 幼児から小学生の保護者
なにを	日常生活でのインターネット上における誹謗中傷など、ネットトラブルの現状の説明と持つべきネットモラル、リテラシーの啓発。 被害を受けた方に対する相談窓口などの紹介
どうする	動画配信（約2週間）＋ 有料オンライン個別相談（¥500/1回30分 限定10人）

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	Smile Daisy
-----	-------------

<b>3</b>	<b>事業により期待できる成果・効果</b>
<p>*この事業が、直接的に達成できることは何ですか？また、その達成できたことによって、地域や市民にどんな良い影響がありますか？          (団体、市、参加者など事業に携わるすべての人に波及する成果、効果を書いてください。)</p> <p>参加者：ネットモラルやリテラシーの知識を得ることで、自信をもってネットでのコミュニケーションを行うことができる          人権侵害について考える機会とすることができる</p> <p>市：市民の人権尊重意識の普及につながる 市民のネットリテラシーの底上げとなる</p> <p>団体：明るく健康的な生活を送るためには情報の活用は大変重要なテーマと考えているため、          こうしたリテラシーの向上は会の目的に沿うものである          また、日常的にネットでの付き合いに困っている人、不安を持っている人たちと接することで、          今後の情報発信やネットワーク化の可能性を得ることができる</p>	

<b>4</b>	<b>この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性</b>
<p>*この課題に関連して、団体が今までに取り組んできたことはどんなことですか？</p> <p>当初、国際理解と子ども英語のサークルとして設立した団体ですが、英語の前段階の「異文化理解の必要性」を感じ多文化共生や国際理解をメインに活動するようになりました。          どうしても、自分達と違う「文化」「慣習」を持つ人々を敬遠しがちな子ども達に「他を受け入れ理解すること」の大切さを伝えようと、今までに、国際赤十字の方や難民として生活してきた方などから子ども達が「異文化」や「人権」について考える機会を多く設けてきました。</p>	
<p>*この課題に関連して、団体もつ強みや生かせるノウハウはどんなことですか？</p> <p>人と繋がることの大切さ、人を受け入れ理解する事の大切さを子どもとその保護者へ伝えてきました。          そこにあっちはいけない人権侵害（誹謗中傷）を説くスキルをもつ講師を有しています。          また、ネット上ではないが、様々な人権侵害をうけてきた他国の方たちとのつながりもあり、様々な角度からのアプローチが可能です。          団体専門外分野に関しては外部講師による講演会も多く実施しており、100人以上を集める講演会も実施経験があります。          今回は子ども達へのネットリテラシーの専門家へ依頼し講演会を開催する予定です。</p>	
<p>*この課題に取り組む団体の思い（熱意・姿勢）はどんなことがありますか？</p> <p>ネットを上手に使いこなすには、危険性を正しく認識する必要があります。          その知識の上に、倫理・道徳面の理解と心の持ち方、対処方法などを知ることは、これからのデジタル社会を生きる人々、特に子育て世代で子どもと接する時間の多い母親には特に重要なスキルであるはずで。          子どもが被害者にならないために、また、加害者にならないために、今、親は何をすれば良いのかを知る事が、子どもだけでなく自分自身も充実した生活を送る為に必要となってくるのです。          私達はこれからも、ネット上で人権侵害だけではなく、子ども達がこれから生きていく多様な社会がより素晴らしいものになるように、「他を受け入れ理解する」事を伝えていきたいと思っています。</p>	

団体名	Smile Daisy
-----	-------------

**5 市との協働に期待すること**

\*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？（再掲）

**人権政策・男女共同参画課**

\*この事業における、市との協働の意義、協働の内容はどんなことですか？

人権という観点でネットの利用をみると、明らかに倫理道徳的に反することは多く、そこに苦しんでいる子どもも多く、保護者がICT機器、ネット利用の危険性を知り、その上で上手に活用していくことは、今後の社会の発展にも大きな影響を与えるはずで

す。協働することにより、市報の掲載などを通じて、さいたま市民全体への周知が可能になることや、団体が独自で事業を行うよりも、参加者の安心感も向上し、上記課題の解決へもつながると考えております。

\*この事業に関して、市と協働するにあたって、どんなことを協力、支援、実現してほしいですか？「 」に具体的に書いてください。

■市が持つ人的な（ノウハウ等）資源による協力・支援	■市が持つ施設などの資源による協力・支援
「 _____ 」	「 _____ 」
「 _____ 」	「 _____ 」
「 _____ 」	「 _____ 」
「 _____ 」	「 _____ 」
「 _____ 」	「 _____ 」
■市が持つ発信力・情報(提供)の資源による協力・支援	■その他
「 市報への情報掲載 」	「 _____ 」
「 市SNSへの情報掲載 」	「 _____ 」
「 _____ 」	「 _____ 」
「 _____ 」	「 _____ 」
「 _____ 」	「 _____ 」

**6 助成終了後の事業展開**

\*この事業は、マッチングファンド助成終了後（※）にどんな事業展開を考えていますか？

※特に翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。

現在、子ども達への多文化共生の指導は行っているが、それと同時に社会の中で「共存」する手段として、SNS等を使っていくためのネットリテラシー教育を進め、安全に様々な国の子ども達が繋がれる環境作りをおこなっていきたくと思っています。

次年度以降は、「安全に楽しく」子ども達が多様性を認め合えいながら、ネット上での繋がりを作る事の出来るイベント開催を検討しています。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	Smile Daisy
-----	-------------

7	事業の詳細な計画
事業①	保護者向けSNSの使い方講座～我が子を被害者にしない！加害者にしない！ ために～
<p>* 事業の計画はどのように考えていますか？ 準備、活動、振り返り等について、体制、実施する時期、どこで、だれが（参加者の属性や人数などを含む）等具体的に何を行うか記入してください。 ※ 目的を達成するための事業が複数ある場合は、事業②の欄を追加（挿入）してください。</p>	
実施時期	実施内容
令和4年6月	チラシ作成・印刷など
令和4年7月	チラシ配架依頼など 配布資料作成（講師作成）
令和4年8月	動画作成
令和4年9月	チラシ配布・SNSなどで告知
令和4年10月	動画無料配信 15分×4本（期間約2週間） 個別相談会30分（参加費：500円）
令和4年10月	振り返り

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	Smile Daisy
-----	-------------

8 事業の実施体制		
* 団体において、事業の実施に関わる人はだれですか？この事業における具体的な役割と併せて記入してください。 ※事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。		
氏名	団体における役職等	この事業における役割
神谷千春	代表	運営・事務全般
[REDACTED]	[REDACTED]	代表補佐
[REDACTED]	[REDACTED]	参加者管理

9 他団体との連携状況
*この事業は、他団体と連携(※)していますか？またはその見込みはありますか？ ※企業、学校、地域の団体（自治会、PTA等）、NPO、ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。
一般社団法人S-netサポーターズ(講師依頼)

\*パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

## 事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

&lt;収入&gt;

単位：円

区分		算出根拠	金額
収入合計（A）		(a) + (b)	130,000
自己資金額（a）		①～⑥の合計（d）と同額	20,000
団体の自己資金	① 自己資金		15,000
	②		
	③		
費用の徴収	④ 参加費	500円×10人	5,000
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額（b）（助成金収入・100万円以内）		(c) と同額	110,000

&lt;支出&gt;

区分		算出根拠	金額
支出合計（総事業費）（B）		(c) + (d)	130,000
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 印刷製本費	配布資料・チラシ代	20,000
	② 謝金・報酬	講師謝金	35,000
	③ 消耗品費	文具等	35,000
	④ 使用料	動画撮影用スタジオ、配信スタジオ	20,000
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		
助成金充当経費計（c）		①～⑩の合計（b）と同額	110,000
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪ 消耗品費	助成対象経費のうち限度額を上回る分	20,000
	⑫		
	⑬		
	⑭		
助成対象外経費	事業に附随して 必要な経費 〔(c)の10%以内〕	⑮	
		⑯	
		⑰	
	事業に附随して 必要な事務局 人件費	⑱	
		⑲	
		⑳	
自己資金充当経費計（d）		⑪～⑳の合計（a）と同額	20,000

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。



## 助成金限度額計算書

単位：円

自己資金を3倍にした金額(e)		=(a)×3	
金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]		
60,000	20,000	×	3 倍

労力換算額(無報酬で事業に参加する市民の労力を金額に換算した金額)(f) =1~10の計			
金額	算出根拠		
50,000	番号	事業の実施時期・内容 算出根拠[人数×時間×500円]	金額
	1	令和4年6月 ・ チラシ作成等 3 人 × 10 時間 × 500 円	15,000
	2	令和4年7月 ・ チラシ配布等 3 人 × 10 時間 × 500 円	15,000
	3	令和4年8月 ・ 動画作成 3 人 × 5 時間 × 500 円	7,500
	4	令和4年10月 ・ 動配信準備及び配信 2 人 × 2 時間 × 500 円	2,000
	5	令和4年10月 ・ 茶話会 3 人 × 4 時間 × 500 円	6,000
	6	令和4年10月 ・ 振り返り 3 人 × 3 時間 × 500 円	4,500
	7	・ 人 × 時間 × 500 円	自動計算
	8	・ 人 × 時間 × 500 円	自動計算
	9	・ 人 × 時間 × 500 円	自動計算
10	・ 人 × 時間 × 500 円	自動計算	

助成金限度額(Z)		=(e)+(f)	
金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]		
110,000	60,000	+	50,000
<b>助成金交付申請額(b)</b>		≦	<b>(Z) 助成金限度額</b>
110,000	円	≦	110,000 円

※助成金の限度額は、1,000,000円です。



## 団体概要

(ふりがな)		すまいる でいじー					
団体名		Smile Daisy					
(ふりがな)		かみや ちはる					
代表者		神谷千春					
連絡責任者	(ふりがな)	[REDACTED]					
	氏名						
	住所						
	電話/FAX						
E-mail		[REDACTED]					
設立年月日		平成 29 年 3 月 10 日					
団体の目的		子ども達に英語をツールとしてダイバーシティ教育を提供し、自ら生きる力を育てる。					
会員数		個人会員 4 名 団体会員 0 団体					
さいたま市内における 主な活動内容		子どもの国際理解と英語のプログラム 保護者向け特別講座の開催 異文化理解のための講演会の開催					
団体の財政規模		本年度予算 (令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月)					
		<収入の部>		<支出の部>			
		会費収入	192	千円	事業費	30	千円
		寄附収入		千円	管理運営費	54	千円
		事業収入		千円	その他支出	126	千円
		その他収入	18	千円			
		計	210	千円	計	210	千円
		前年度決算 (令和 2 年 4 月) ~ 令和 3 年 3 月)					
		<収入の部>		<支出の部>			
		会費収入	42	千円	事業費	7	千円
寄附収入		千円	管理運営費	21	千円		
事業収入		千円	その他支出	17	千円		
その他収入	3	千円					
計	45	千円	計	45	千円		
添付書類		<p>* □ (四角) に ☑ (チェック) を入れてください。</p> <input checked="" type="checkbox"/> 定款又は会則等 <input checked="" type="checkbox"/> 正会員の名簿ならびに最新の役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度の団体の活動予算書 <input checked="" type="checkbox"/> 直近1事業年度分の活動計算書(収支計算書) <input checked="" type="checkbox"/> 成年被後見人等に該当しないことを確認した旨の書面(任意団体のみ) <input checked="" type="checkbox"/> 団体目的等についての確認書(任意団体のみ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					